

令和 3年 3月期 (第75回) 番組審議会 議事録 (抄)

1 開催年月日 令和 3年 3月19日 (金) 午後 7時 ~ 7時43分

2 開催場所 特定非営利活動法人京丹後コミュニティ放送事務所

(京丹後市峰山町丹波825番地の1)

3 委員の出席 委員総数 7名

出席委員数、5名

欠席委員数、2名

放送事業者側出席、2名

4 開会

事務局から令和2年度第5回目の番組審議会の開会宣言の後、出欠確認がなされた。

5 活動報告等

特番として、京都府コミュニティ FM9局合同番組「311防災リレートーク～東日本大震災から10年の記憶～」、京都文教大学制作「京丹後の魅力発信レポート～花よりタンゴ～」の番組、イベントの司会等の報告がなされた。

6 議題

「みゅ〜じっくぱふえ catchy (水)」出演：キャッチー船戸

令和 3年 3月17日 (水) お昼12時～1時間番組

7 議事概要

まず、議事録署名人として、2名にお願いをし、了承が得られた。

続いて、番組説明、番組視聴、その後審議に入る。

毎週水曜日 お昼12時～ (再放送：同じ週の日曜、午後6時～)

(局からの説明) パーソナリティ：キャッチー船戸

音楽好きの薬剤師キャッチー船戸がお送りする情報・音楽番組

前半は「お薬やさんに聞いてみよう」健康・医療・介護に関する情報に加え、昨年からは新型コロナウイルス関連の情報発信に力を入れている。

後半は音楽・映画などカルチャーなトークとともに、自前の選曲リストから曲解説も交えながらお気に入りの音楽をお届けする番組。

8 審議内容

(委員) 今の音源の中では思いませんでしたが、普段聴いている際、語尾の「～が」とか「～に」を強く言われている時があり、それがすごく耳につく事もありました。以前は「えー」という言葉が間接的に入っていたのが印象に残っていますが、依然と比べると聞きやすくなりました。努力で乗り越えられたんでしょうね。

(局側) 今はコロナの情報もあり、原稿を読み込んでいると思います。

(局側) 同じコロナの話しでも、何でもない私たちが伝えるのと、薬剤師の人が伝えるのとでは、聴く側として全然違うということもあり、船戸さんに任せている感もあります。

(委員) 説得力が違いますからね。

(委員) コロナの件は、年齢関係なく色々な方が関心を持っておられ、あえてゆっくり話されているのかなと感じ聴きやすかったです。

(委員) いつもゆっくりですか。

(局側) そうですね。いつもゆっくりとしゃべられます。後半の音楽の紹介などもこのペースでしゃべられます。

(委員) ゆっくりで私は聴きやすい。

(委員) 才能豊かで、選曲もなかなか聞かないような曲を流していますね。

(委員) 本の紹介もされていますね。

(委員) 近隣の市で上映されている映画の話もされていますね。

(局側) 仕事だけでも色々忙しく走り回っていると思いますが、時間を上手に使っていると思います。

FM まいづるさんでも番組を持っています。

(委員) そうなんですね。薬剤師の仕事だけでなく、地域に密着したイベントもされているのを見かけます。

(委員) 地元の高校生に話をしてもらったこともありますね。町のお薬屋さんと言うイメージを一掃してみたいな感じで、自分でできることをもっともっと発信していく話もしておられたと思います。

(委員) そんな話をラジオを通してもっとしていただけたらいいですね。

(局側) 今回のお薬さんの話は理解していただきましたでしょうか。以前放送した中で、難しく理解できなかつたという意見があり、もしそうであるなら、リスナー目線での話をしてもらえよう改善も必要になると考えています。

(委員) 今の情勢を伝え、その後自分たちにできる事をしっかり言っておられたのでいいかなと思います。

以上、意見有

9 審議機関の答申又は改善意見に対して採った措置及びその年月日

特になし

10 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、放送及び年月日

① 当局事務所内に掲示

② 当局ホームページ <http://fm-tango.jp/> に掲載

11 その他の参考事項

特になし。